

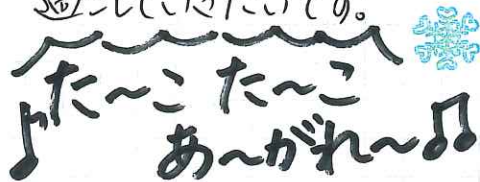


# らいおんぐみだより

R7. 1. 31

応其こども園

新しい年が始まり1カ月が過ぎました。「子どもは風の子、元気な子」という言葉の通り、子どもたちは、厳しい寒さに負けず積極的に外に出て遊んでいます。先日は園庭が雪で真っ白になり、子どもたちは大興奮。雪玉を作って反打ち同士で投げ合ったり、楽しんで、「雪だるま作りたーい」と言ったり、作っていると「冷たいー」と手をこすり合わせたり、雪の冷たさや感触を味わうことが出来ました。水道の水が寒さで凍って「つらう」を発見した子どもたち。「これ何やったかな?」「あられ?」などとかわい言い間違いもありながらホッコリさせてもらいました。今の季節にしか出来ない遊びで「冬」を感じ、私たちも一緒に楽しみたいと思います。いろいろな病気が流行する季節でもあるので、体調管理に気を付けて過ごしていきたいです。



自分たちで好きな絵を描き、オリジナルの凧を作りました。今年の干支は、「ハビ年」ということで、ハビを描く子もいれば「家族全員を描きたい」と言ったり、みんなそれぞれ思いのつまった凧が出来ました。

らいおん組が凧あげをしようとすると毎回青空が広がり、風も吹いてタイミングがバッチリ。凧が自然とあがり、子どもたちも大喜びでした。凧が高くあがりすぎると風で引、張られてしまい「こわー」とつぶやく子もいましたが、遊び終わった後は、みんなが「凧あげ楽しかったー」と口をそろえて言っていました。また、お家の人と凧あげをするのを楽しみに持ち帰りましたのでぜひ一緒に凧あげをして楽しんで下さい。

# 発表会に向けて頑張っています



\* いよいよ今週となった発表会。早くお家の人に見てもらいたいと何度も言っていたら、らいおんぐみの子どもたち、「今日は何するの?」と劇やうた合奏の活動も楽しんで参加してくれていました。終わった後は、「今日100点やった?」「誰が上手?」「ぼく、わたし頑張った」と自分たちで褒め合う姿もありながら毎日賑やかに取り組んでいました。

ホールの練習では、他の学年のお友だちが見に来てくれると嬉しい反面、緊張してしまい、小さな声になったりセリフを忘れてしまったり落ちこぼれ事もありましたが、何度も経験することで見られる事にも慣れてきて自分の力を発揮できるようになりました。

発表会当日は、子どもたちが想像する以上のお客さんが見に来てくれるのでもちろん緊張すると思いますが、今まで頑張ってきた姿を認め最後まであきらめずに見守って頂けると嬉しいです。



## もうすぐ節分

節分は「みんなが健康で幸せに過ごせるように」という意味をこめて悪いものを追い出す日です。節分の紙芝居を読むと「こども園に鬼来るかな?」とい配る子もいれば「鬼来たらずいすから」と強気な子もいます。鬼のお面作りでは、「赤鬼にする」「角は大きいのがいい」「目は怒ってるようにした」などと鬼を想像しながら自分たちで考え完成しました。また持ち帰りするのでお家での豆まきで使して下さい。

2/13にいちご狩りに行きます。子どもたちは今から楽しみにしています!

「100かいたてのうた」シリーズはどの学年にも人気。らいおんぐみでは毎日取り合っている程、何度も見ている。どの階にどの動物が出てくるかもうみんな覚えてます。



### 今月の絵本